



Bluetooth完全ワイヤレスイヤホン/
ノイズキャンセリング

JBL LIVE FREE 2 TWS

¥OPEN(直販サイト価格¥15,950/税込)

SPEC ●通信方式: Bluetooth Ver.5.2 ●対応コーデック: SBC、AAC ※アップデートによってLE Audioにも対応予定 ●連続再生時間: 最大6時間(ケース込み28時間) ●質量: 約4.9g ●付属品: イヤーチップ(S/M/L)、USB Type-C充電ケーブル



金賞

Bluetooth完全ワイヤレスイヤホン/
ノイズキャンセリング
(1.5万円以上2万円未満)

トレンド全部入り、最先端かつ高音質 いま、選ぶべきイヤホン

VGPアワードの中でも、もっとも激戦区となったノイズキャンセリング搭載の完全ワイヤレスイヤホン。このジャンル、しかも売れ筋の価格帯で、No.1の座に輝いたのが「JBL LIVE FREE 2 TWS」でした。音質もノイキャンも機能性も。JBL史上もっとも"完全無欠"なワイヤレスが誕生しました。



JBLの真骨頂! 全方位に隙のない仕上がり

VGP審査員 高橋 敦

1.5万円前後というのは「エントリークラスからステップアップできる、ちょっといいイヤホンがほしい!」というユーザーが最初に目を向ける価格帯。クオリティを意識し始めたユーザーからの強い期待に応えられる製品が求められます。その激戦カテゴリーにおいてNo.1の証、金賞を獲得したのが「JBL LIVE FREE 2 TWS」です。

まず、音質が優秀です。チタンコーティングを施した複合素材を振動板に採用した大口径11mmの高性能ダイナミック型ドライバーから放たれる音は、鼓膜を震わせる太いローエンドからシャキッとしたキレのハイエンドまで綺麗に整えつつ低音を巧くプッシュした、現代的な音に仕上げられています。それでいて、アプリのプリセットイコライザーで「STUDIO」を選べば、まさにその低音が適度にシェイプされ、オーディオマニアも納得のナチュラルバランスの音質に変身します。幅広いニーズに応える懐の深さも備えています。

ノイズキャンセリング性能も万全です。ノイキャンの強さを任意に調整したり、周囲の状況に合わせてほぼリアルタイムで自動調整するモードも搭載。外音の取り込み具合も調整できます。それらの機能設定やタッチ操作の割り当てはアプリから行いますが、アプリの機能の豊富さと使いやすさは、各社の完全ワイヤレスイヤホンの中でトップクラスと断言できます。他、本体とイヤーチップどちらも楕円形で耳にフィットする「デュアル・オーバルシェイプ」、合計6基のマイクを駆使した高い通話性能、ユーザーの外耳道をスキャンしてのノイキャン性能最適化などなど、まさに隙なし。2022年夏時点での完全ワイヤレスイヤホンのひとつの完成形といえます。

装着性と遮音性を高める 「オーバルシェイプ」

耳に沿うようにフィットする楕円形ボディに加えて、耳穴に直接触れるイヤーチップやサウンドチューブ(音筒)にも楕円形を採用したJBL独自の「デュアル・オーバルシェイプ」を採用。これによって長時間のリスニングでも快適な装着性と、ノイキャン効果を底上げするパッシブの遮音性を高めることにも成功しました。



ノイキャンと外音取り込み スマホアプリが凄い!

スマホアプリ「JBL Headphones」が新機能を追加してさらに進化。ノイキャンや外音取り込みの調整のほか、ユーザーの耳の特性に合わせた最適化をおこなうパーソナライズ機能まで、多彩なテクノロジーが盛り込まれています。もちろん従来通り、イコライザー設定やイヤホン本体のタッチ操作のカスタマイズなども可能です。



クールかつエレガント、メタリックな4色展開

上質な光沢感を纏うブラック、ブルー、シルバー、ローズの4色展開。イヤホン本体の側面は「非伝導性真空蒸着(NVCM)」により、透明感のあるメタリックな仕上げとなっています。フタ裏にシリコン製のスタビライザーを搭載するなどイヤホンケースもこだわりで、コンパクトで持ち運びやすく、収納や取り出しも容易です。



USBマイク JBL Quantum STREAM

¥OPEN(直販サイト価格 ¥11,000/税込)

SPEC ●型式: 14mmコンデンサー(2カプセル) ●サンプリングレート: 44.1kHz/48kHz/96kHz ●ビット解像度: 16bit/24bit ●指向性パターン: 単一指向性/無指向性 ●周波数特性: 20 ~ 20,000Hz ●外形寸法: 80W×174H×80Dmm ●質量: 248g ●付属品: USBケーブル(1.9m)



金賞

テレワークデバイス
(オーディオ関連機器)

ゲームプレイにも、テレワークにも 万能型USBマイク

JBLが手がけるゲーミングブランド「JBL Quantum」シリーズに新たに、高品位なデュアルコンデンサーUSBマイクが登場しました。音質・機能性・使い勝手ともに優れた万能アイテムとして、金賞を獲得しました。



カジュアルに使えて 高音質でコンパクト

VGP審査員 山本 敦

オンラインミーティングに快適に使えるWEBマイクを探していたところ、JBL「Quantum STREAM(クオンタム・ストリーム)」と出会いました。QuantumはJBLのゲーミングブランドですが、この外付けUSBマイクは、ゲームプレイや動画制作にはもちろん、ビジネスや友人・家族とのリモート通話にもカジュアルに利用できます。サイズが軽くてコンパクト。約1万円というプライスも魅力的です。対応機器はMac/Windowsのほか、PS5/PS4とNintendo Switch。マイク本体の3.5mmジャックにイヤホンやヘッドホンをつないで、音声をモニタリングすることもできます。

音質はさすがJBL。高感度コンデンサーマイクを搭載していて、声の輪郭をブレなく正確に捉えてくれます。マイクの極性パターンは、指向性を一人の話者に集中させるシングルモードと、環境音も取り込むオムニダイレクショナルモードがあり、本体スイッチから切り替えて選べます。また、Quantum STREAMにはマイクの角度調整ができるテーブルトップスタンドが付属しています。ほかのアクセサリーを追加購入しなくても、即戦力として使えるのも満足度が高いポイントです。スタンドをマイク本体から取り外して、カメラ用の三脚やブームアームに付け替えられます。選択されている極性パターン、ミュートなどマイクのステータスは本体ボトム側に配置されたLEDの点灯色で見分けられるのも便利です。ちなみに専用PCソフト「QuantumENGINE」を使えば、音質やインジケータの色などをカスタマイズできます。

設定がとても簡単でポータビリティにも優れるJBLのQuantum STREAM。高音質USBマイクの入門機としてイチオシです。

さすがはJBL! 音質重視の設計

微細な音や息遣いまで捉える、高感度なコンデンサーマイクならではのメリットはそのままに、周囲の環境音のノイズの影響を抑える構造を採用。JBLらしく、高品位な音を届けてくれます。また、マイク本体にボリュームつまみがあったり、RGBライトで動作状態が視認できたり、本体上部のボタンで瞬時にミュート切り替えできるのも便利です。



追加パーツなしで 3つの設置スタイル

利用シーンに合わせて、追加パーツなしで、「卓上」「カメラ三脚」「アーム取り付け」の3つの設置スタイルに対応。本体のリバーススタンドで角度調整も可能で、思い通りの設置を叶えます。また、単独でのオンライン配信に最適な「単一指向性」と、複数人の声や会場の雰囲気も捉えるのに最適な「無指向性」を切り替えて使えます。

LINEUP

ゲーミングヘッドセット

JBL Quantum 350 Wireless

¥OPEN(直販サイト価格 ¥12,100/税込)

わずか252gの軽量設計、ボイスフォーカスマイクやパーチャルサラウンドなど、多彩な機能も備えたワイヤレスゲーミングヘッドホンの新定番。こちらもおすすめ!

